

謹賀新年



日々、楽しく前向きに！ 柏原貞枝

新しい年号になる年、良い一年になる様に
 頑張ります。 南方裕之
 何事にも明るく楽しく頑張ります

宮崎 忍

去年は色々あったので、今年が良い年になさしてほしいです。

北川陽輔

六十歳を無事迎え、かえらぬ年長感謝！
 本年もよろしくお祈りします。 服部雅章

安全第一でがんばります。 鳥居和生

後厄、何も無い事を祈ります。 熊代由宏

健康第一！！ 藪郁恵

2018 年度を振り返り 2019 年度の目標

2019 年度の目標を策定する前に、2018 年度を振り返る必要があります。

服部雅章の 1 年間を最初に振り返ります。一昨年に下垂体腫瘍の心配があるとの医師の診断を受けていました。医師との打ち合わせは 2018 年 4 月 3 日に最終の判断をする事でした。その為 4 月 2 日に最終検査を受けました。

検査の結果を 4 月 3 日に聞きましたが、正直耳を疑いました。結果は腫瘍が無くなっているとの最終所見でした。その時の医師のお言葉に『こんな様になるのが、人間の肉体で有って不思議でもなんでもない』感謝しました。

次に脳の病が無くなっていたので、水面下で進めていたアフリカ（カメルーン）出張を本格化させました。関西空港から香港経由、そしてアジスアベバ経由でカメルーンのヤウンデ空港に行ってきましたが、空港に到着した時の第一印象の悪さが、そのまま結果に表れました。

今回お誘いを頂いた現地エージェントの中山氏の虚偽『後にテレビ報道されましたが、こんな所に日本人がいる。全く虚偽の番組内容でした』や『町から車で 5 時間程度かかる伐採現場まで行けます。の話は全くそうではありませんでした。多分プラス 3 時間程度かかったと思います。泥濘に嵌まり動けなくなることは、死を意味しています。携帯電話が全く通じない所に一回も下見もせず案内するのです』にはへきへきしました。

又アフリカの貧困層の人々の我々先進国の人間を見る時の眼力の厳しさには、恐れました。企業に勤めている黒人の方はそうでもないのですが、失業率が 50%を超えている発展途上国は仕方がないかも知れませんが、心が折れるアフリカ出張でした。

出張以外の事も有ります。9 月 1 日と 2 日にかけての研修旅行は社内の意識改革に繋がったと思います。和歌山県白浜の白良荘に 1 泊 2 日で行きましたが、ホテルのクラスは白浜でもトップクラスです。ここでの目的は、服部商店の目指すサービスとは何かを知って頂く事です。ここで学んだ事を生かしてくれていると思っています。

服部商店で扱っている木材は最初から価値が有るのです。優良な品質の木材ばかりです。一流の板前が一流の素材を活かした一流のお料理を提供する時と全く同じです。その時に板前から聞く蘊蓄と小生が皆様にお話しする蘊蓄は同じです。

ホワイトオーク材にしてもブラックウォールナット材にしても、最高の産地の最高の品質の原木を調達しているから良い商品を提供出来ると思います。

ところで白浜から帰ってきてすぐに台風 21 号に出くわしました。9 月 4 日の事でした。この日は社員全員を午前 10 時に帰宅させましたので、社員全員の安全は守る事は出来ましたが、服部商店本社は大変な被害を被っていました。当日午後 1 時 30 分頃が一番大阪に接近したと思います。それからしばらくして 3 時 30 分位には風はかなりおさまっていたので、家を出て会社に向かいました。4 時 30 分頃に会社に到着した時、大ショックを受けました。

会社は南側の海に面しています。従って暴風雨の直接的な影響を受けてしまいました。ブロック塀まで倒れる程の強烈な風が吹いたのです。過去に 30 メートル前後の強い風が吹いた事があるのである程度の被害は出るとは想像していましたが、さすがに 40 メートルを遥かに超える 50 メートル近くの猛烈な風が吹いたと思います。これが地球温暖化の為なら、日本は世界中の人々の安心安全の為にひと肌脱ぐように努力することが望まれると思います。11 月 23 日に大阪に 55 年ぶりに開かれることが、決まった万博にも我々材木屋が積極的に参加して

地球温暖化を少しでも解決するために木材資源を有効に使用することが大事だということを世間の方々に合理的に説明することが出来ればと思います。

* 第151号で、木材資源の使い方で地球温暖化防止出来る事は書ききれません。次号以降に具体的に書きます。

2018年はまだまだ多くの事が有りすぎて服部新聞第151号では書ききれません。2018年を振り返ってみると、人間は簡単に死ぬことが出来ないということが解りました。と言うことは2019年度の目標を掲げる前に凄く大事な事が有る事を気付かされた一年でも有りました。それはお金儲けの前に安心・安全が第一だと言うことです。それを元に来年度以降の目標を書きます。

2019年度の目標を下記に書きますが、ガバナンスが効いている目標でないと駄目だと思います。

- 1、 少子高齢化の為に会社の社員の年齢構成のバランスが取れていることが望ましい。その為の人事戦略を考え実行します。
- 2、 単に女性の活用では有りません。女性スタッフがもっと輝く会社にすることです。それは男性しか出来ない仕事の見直しだと思います。
- 3、 障害者の雇用も大事な目標です。その為には、事務所の大規模なリニューアルもしなければなりません。台風21号の復旧が2019年度の後半まで遅れる（超人手不足の為）ように有れば今期の目標にならないかも知れませんが、トイレの大規模な改修等の設計は、やりたいと思います。
- 4、 工場長にもう一段階上の違う仕事をして頂きたいので、若者を入れるかそれとも外国人を雇用するのかどちらかをしたいです。
- 5、 全国ネットのインターネット販売をしていますが、今まで行っていなかったモールの活用もします。
- 6、 新しい御客様の為のお店の改修も課題だと思います。
- 7、 1961年の第二室戸台風クラスの21号台風の大きな被害を受けましたが、この対策は1年では無理です。3年から5年間位かけて少しずつ行っていきます。
- 8、 無借金経営にもう少しの所まで来ています。しかし単純な無借金なら意味がない、潤沢なキャッシュフローが有っての無借金経営です。
- 9、 息子に譲るための会社の改善では有りません。少し辛いですが楽しい。しんどいが御客様が喜んでくれる。そんな会社にすることが、100年以上の歴史を目指す店になると思います。それが実現すれば自然と次男が継ぎたくなる会社になると思います。
- 10、 1から9迄書きましたが、まだまだ多くの事が有ります。一つ一つ確実にこなしながら進めていきたいと思っています。

アメリカ報告

2018年11月11日～17日の強行日程で本年度第一回目のアメリカ広葉樹原木の買い付けに出かけてきました。

インディアナのホワイトビジョンのサプライヤー⇒覗いて来ました。このサプライヤーから過去に仕入れたことは有りませんが、今回いつもと違うエージェントが案内してくれると言うので見てきましたが、はっきり言って服部商店に合わないサプライヤーだと思いました。



現場にホワイトオーク材とブラックウォールナット材が並んでいましたが、小生の希望する品質では有りませんでした。

そして二日後にいつものオハイオのサプライヤーを訪問してホワイトオーク材の優良原木を1コンテナ仕入をしてきました。⇒

現在、アメリカと中国との貿易戦争が行われています。アメリカ材に対して中国政府は10%の関税を上乗せしていますが、11月現在の取引は一方向的に中国のバイヤーが10%負担しているのではありません。アメリカのサプライヤーが5%オフして、中国のバイヤーが5%負担しているのです。と言うことは原木価格は中国向けは5%値下がりしているのです。



しかし2019年度の関税の政策をアメリカのトランプ大統領は、現在の10%から倍の20%にアップしようとしています、それが実行されるか否かは、服部新聞を書いています12月



月上旬では解りませんが、アメリカの山持ち達は様子を見ているところだと思いました。

五大湖周辺も日本と同じように、気候変動の影響を諸に受けています。雨が多く降って、地面の状況が悪いために、出材も激減していました。

左は全く空のヤードです。いつもの時期ならヤードに原木が一杯です、本当に少ない事に驚きました。